

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
P T A 連 合 会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルII-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
共立印刷(株)



心の在り方

新潟県高等学校PTA連合会
副会長 遠藤 忠克
(長岡高等学校親師会長)

日頃より県高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、二〇二〇年は新型コロナウイルスに振り回された一年となりました。このウイルスの厄介なところは、身体だけでなく、人の心をも蝕んでしまうところだと感じています。感染が疑われただけでも、多くの人を巻き込んでしまうかもしれないという不安や、誰かにうつされるのではないかとという疑心によって、人と人の間に大きな隔たりを作ってしまう。

しかし、こういう時だからこそ、ソーシャルディスタンスは保たなければならぬ。心と心の距離はできるだけ近くありたいと思っています。様々な活動が中止や延期となり、共に時間を重ねることも儘ならない中ではありますが、想像力を膨らませ相手のことを思いやる気持ちは大切にしたいものです。自分のための感染対策は周りの誰かのためにもなること、感染は誰にでも自分にも起こりうることを、ウイルスの仕業であって誰かのせいではないこと、などを意識するだけでなく、その距離は変わってくるように

思います。

医療のことは専門家にお願ひするしかありませんが、心のこと、心に思うことがあれば、私たちにもできることがあるはずです。まずは一人ひとりがそのようなことを意識することから始まり、さらには、家庭と学校が、そして、単Pだけでなく連合会としてみんなが同じ方向を向き、心を寄せ合うことができたなら、隔たりは縮まり、それに伴う差別や偏見なども減っていくのではないのでしょうか。どんなに感染対策を講じてもリスクはゼロにはなりません。それでも大切な教育の機会を止めないために、今、私たちの心の在り方が問われているように思います。

学校行事や部活動なども思うようにできず、生徒たちも大変なストレスを抱えて日々を過ごしていることと思います。先が見通せない中ではありますが、明けぬ夜はないように、止まない雨はないように、いつか必ず収束し、いつもの未来がやってきます。ポジティブな気持ちを大切にしながら、みんなで力を合わせて乗り越えていきましょう。

総文祭出場おめでとう

柏崎翔洋中等教育学校吹奏楽部保護者

遠藤 里実

「来年、総文祭に出場するんだって。高知なんだよ。ねえ凄いでしょ。」これが、全国高等学校総合文化祭が開催されていることを私が昨年初めて知った時でした。総文祭出場は、部員全員のやる気やチームワークを格段に高めたニュースでした。

吹奏楽部は大会前の一日練習が当たり前。演奏時間に合わせた早朝の集合もありました。練習がきつかったり、上手く演奏できなかったり、今まで頑張った分、総文祭出場は部員への大きなプレゼントになったと思います。

今年の総文祭は、新型コロナウイルス感染症の影響でウェブ開催となりました。

大好きな弓道での優勝

新発田南高校弓道部保護者

菊池 幸恵



「高校に進学したら弓道がやりたいたい！」と弓道部のある新発田南高校へ進学したのが、昨年の四月。希望に胸を膨らませて弓道部に入部しました。入部当初は体力作りメインの練習

た。高知県に赴き演奏することはできませんでしたが、参加することを通じて、全国の仲間とお互いに高め合う時間を共有できたと思います。思うように練習ができない中で曲を仕上げ、困難な状況を部員一丸となって乗り越えての配信となりました。この経験は貴重な思い出となり、これからの活動の源になると信じています。先生方や保護者の皆様、後援会の皆様の支援のお陰で出場できたことに感謝いたします。総文祭出場おめでとう！吹奏楽部の活躍をこれからも応援しています。



の日々。体力に自信のない娘が、毎日へとへとになりながらも目を輝かせて弓道の話をしている姿を見て、「本当に弓道が好きなんだなあ」と微笑ましく思っていました。家族で初めて応援に行った試合では、厳肅な雰囲気の中、袴を着て背筋がピンと伸びた娘の姿はとてもしどろろと見えました。二年生になり、弓道に真剣に打ち込めるのも残り一年...と思っていた矢先、新型コロナウイルスにより、すべての活動に制限がかかる日常となってしまう活動。そんな中で開催された新潟県弓道選手権。娘から「個人・団体と優勝したよ！」との知らせを受け、驚きと嬉しさで胸がいっぱいになりました。本当によく頑張ったね！そしておめでとう！！

最後に、コロナ禍での日々の活動や大会開催について、ご指導してくださる先生方と関係者の皆様に感謝申し上げます。

地区研修会

新潟地区 新潟北高校

PTA会長 高山 善明

新潟地区高等学校PTA指導者研修会は、十一月二十日(金)、じよいあす新潟湯会館にて開催されました。当日は、四十名の皆さんからの参加をいただきました。

研修会では、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」をテーマにご講演いただきました。SNSでのいじめやトラブル、子どものSOSを受け止めるカウンセリング技法などについて、分かりやすく伝えていただきました。

続いて、新潟県立大

学人間生活学部講師の藤原健志様より「親の期待と子の受け止めー親の心子知らず?子の心親知らず?ー」と題して、ご講演をいただきました。親は子どもに何を期待し、それを子どもはどう受け止めるのか、データをもとに紹介いただくとともに、期待を超えた親子の関わりについて、ヒントをいただきました。コミュニケーションを通じて、親も子も一人の人間として成長もつながるものと考えました。

今年度は研修会に引き続いての教育懇談会は実施しませんでした。今後のPTA活動にむけて、とても貴重な一日となりましたことをご報告いたします。



新発田・村上地区

新発田商業高校

PTA会長 坂井 由香

新発田・村上地区は、十一月二十日(金)、月岡温泉ホテル清風苑で研修会を開催しました。各校から多くのご参加をいただき、当番校として、心よりお礼申し上げます。

研修会では、はじめに県高P連副会長の伊藤和彦様よりご挨拶と今年度の県高P連活動報告がありました。その後、各校PTAの活動状況報告が行われました。休憩後、県教



育庁生徒指導課副参事の久保俊幸様より、本県のいじめと自殺の現状、親や大人が子どもにしてあげられる対策等についてお話をいただきました。講演会は、糸魚川市こども課主任相談員で、お笑い芸人の横澤夏子さんのお母さんでも知られる、横澤富士子様からご講演いただきました。娘さんが吉本へ行くことを決断した時の両親の対応からはじまり、子育てで重要なポイントをわかりやすく語ってくださいました。「黙って聴く」、「うなずきながら聴く」など、上手に話を聴く四つのポイントを、参加者も実際に体験する場面を交えてお話しいただきました。終始、笑いが絶えず、会場内は和やかな雰囲気の中で楽しみながら聴くことができました。全体を通して、とても有意義な研修会となりました。

巻地区 巻高校

PTA会長 佐藤 政則

巻地区高等学校PTA研修会は、十一月二十五日(水)、巻ふれあい福祉センターを会場に、四校四十二名が参加して開催されました。

研修会では、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様より「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」をテーマにご講演をいただきました。いじめの定義やいじめの態様、子どものSOSに気付くために親としてやるべきことなどを、わかりやすくご説明いただきました。

研修会後半の講演では、ケンオー!ドットコム合同会社代表の佐藤雅人様より

新津地区 五泉高校

PTA会長 石井万貴子

十一月十二日(木)に五泉市のガーデンホテルマリエールを会場に、七校三十四名の皆様から参加いただきました。

当番校会長挨拶後、県高P連理事の田中義信様からお話をいただき、続いて県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様から、学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防



「SNS時代の地域メディアの役割」と題してご講演をいただき、SNSが発達した現在における地域メディアの役割や自然災害発生時において被災者が必要とする情報をいかに早く正確に発信できるかなど、非常に興味深いお話を聞かせていただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により教育懇談会は中止となりましたが、各校の活動などの情報を共有することができ、非常に有意義な研修となりました。最後に、各校のPTA役員、会員、教職員の皆様、ご協力ありがとうございました。



今回は各校混合の六グループに分かれ、「感染症対策下における生徒の状況と今後の見通しについて」をテーマに活発な協議が行われ、今後に生かせる前向きな情報交換ができました。講演 有限会社ナマラエンターテイメント 森下英矢様を講師にお迎えし、「やたちゃんと森下家」発達障がい児の子育てからの気づき」を演題に講演をしていただきました。ユーモアを交え、家族愛を強く意識できるお話をお聴きできました。 コロナ禍の中、様々な制約はありましたが、非常に有意義な会となりました。

長岡地区

長岡英智高校

P T A 会長 鷲頭加恵郎

長岡地区は、十一月六日(金)、アトリウム長岡を会場に、地区高等学校 P T A 指導者研修会を開催しました。

はじめに、県高 P 連副会長・長岡高校親師会長の遠藤忠克様よりご挨拶をいただきました。引き続き、進行次第に沿って各種報告が行われましたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、北信越高 P 連福井大会が中止、来年度は富山県で開催予定とのことでした。また、全国高 P 連島根大会につきましても一年延期とし、来年度は同島根県で開催とのことでした。

次に、令和四年度の県高 P 連総会における本地区の発表校について、栃尾高校

が担当することが確認されました。その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の関口和之様より、いじめ対策並びに自殺予防について、説明いただきました。

後半は、Idea Partners 代表の山本一輝様より、「これからの時代に必要な探究的なチカラ〜大人こそ大切なマイプロ的な生き方〜」と題した、大変示唆に富むご講演をいただきました。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に配慮した形での開催となり、例年研修会後に行われていた教育懇談会は中止といたしました。大変有意義な研修会となりましたことを、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



三条・燕・加茂地区

三条東高校

P T A 会長 小師 栄一

十一月十八日(水)、燕三条地場産業振興センター・リサーチコアを会場に、三条・燕・加茂地区高等学校・中等教育学校七校三十七名で P T A 指導者研修会を開催しました。

最初に、県高 P 連理事で当番校を務める三条東高校 P T A 会長小師より挨拶と県高 P 連事務局資料の説明を行いました。

その後、県教育庁生徒指導課副参事の石山崇様より、「学校と保護者が連携したいいじめ対策・自殺予防について」のご講話をいただきました。

情報交換会では、「新型コロナウイルス感染症拡大防止策を踏まえた今後の P

T A 活動の在り方について」というテーマを設けてグループワークを行い、各校からは、行事の中止が目立つ中、今できることに取り組もうとする前向きな発表が多く行われました。

続く教育講演会では、新潟青陵大学教授の確井真史様をお迎えして、「巣立つ子供たちのために」と題して興味深い言葉、心理学の視点からの子育てのヒントをお話しいただきました。

この不透明な社会情勢の中での子育て、今後の P T A 活動に向けて、とても貴重な研修会となりましたことをご報告いたします。



魚沼地区

十日町総合高校

P T A 会長 上村 友博

十一月十七日(火)、十日町情報館にて魚沼地区の高等学校・中等教育学校十二校で P T A 研修会を開催しました。

はじめに、県高 P 連理事で小千谷高校 P T A 会長の佐藤恵美様から開会の挨拶と県高 P 連総会等の報告をいただきました。

その後、県教育庁生徒指導課指導主事の山中政一様より「学校

と保護者が連携したいいじめ対策・自殺予防について」の講演をいただきました。学校と保護者が連携して、いじめ対策や自殺予防に取り組むことの重要性を感じました。

実践発表では、小出高校、国際情報高校、十日町高校の三校から、各校の活動内容や実践等について、とても参考になる素晴らしい発表を行っていただきました。P T A 活動の一つとして、学校行事を通じて学校や生徒たちと関わるなど、各校ならではの工夫がありました。

今年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、各校の参加人数を制限し、また、外部講師を招いての講演会も中止しました。研修会終了後の教育懇談会も今年度は実施いたしませんでした。

「いじめ」

柏崎地区

柏崎総合高校

P T A 会長 井手 規秀

柏崎地区高等学校 P T A 研修会は、十一月十九日(木)、柏崎市産業文化会館で開催されました。

まず、地区高 P 連会長の高橋武様のご挨拶から始まり、続いて、県教育委員会よりお話しいただいた「いじめ」

について、



改めて親として大人として子どもとどのように接するべきなのかを再確認しました。

研究発表においては、柏崎総合高校の井手より今年度のコロナ禍での P T A 活動について発表しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で休憩中もしっかりと換気を行い、次の講演に移りました。講演は、ソロモンエディケーションのアナボヌ実砂子氏による「相手と自分の意欲を引き出すコミュニケーション」をテーマとしたもので、今回はアクティブラーニングという形で会場全員が一体となってコミュニケーションの取り方について学びました。実際に体感することで非常に深く理解することができ、有意義な時間となりました。

高田・直江津地区 有恒高校

PTA会長 宮下 重紀

今年度の研修会は、十一月十八日(水)にホテルハイマートにて開催されました。



まず、北信越高P連福井大会の発表校である高田北城高校の齊藤和人PTA会長様から「進路指導とPTA」と題して活動報告をいただきました。

指導主事の清水謙一様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」のご講話をいただき、子どもの発するSOSを受け止める方法等についてアドバイスをいただきました。最後に、元新潟南高校野球部監督・元新発田農業高校校長の関川弘夫様から「人生の甲子園〜可能性への挑戦〜」と題してご講演をいただきました。「心のキャッチボール」をキーワードに、新潟南高校野球部が夏の甲子園ベスト8入りを果たすまでのドラマを、ユーモアを交えながら語っていただき、夢を追うことの大切さを再認識しました。恒例の懇談会は残念ながら開催できませんでした。各校の今後のPTA活動に有用な情報が得られ、大変有意義な研修会となりました。

佐渡地区 佐渡高校

PTA会長 西牧 孝行

今年度の佐渡地区研修会は、十一月十三日(金)、新潟交通佐和田ビルの六階ホールを会場に開催し、島内五校六十三名の参加がありました。

はじめに、当番校の遠間春彦校長から開会挨拶並びに今年度の全国及び北信越高P連活動報告と来年度の予定についての説明をいただきました。その後、県教育庁生徒指導課副参事の久保俊幸様による講話を拝聴しました。

今年の研究協議は、「つながりで地域課題を考える」をテーマとして、佐渡総合高校PTA会長の若林大様から発表いただき、発表内容に基づいた参加者によるワークショップを行いました。

その後、佐渡出身で両津に人気カフェを開業された、パティシエの三川麻様から「その人だけの物語」と題した講演をいただきました。大学進学後の自分探しの二十代を経て、ニューヨークの最も繁盛していたケーキブティックで働くようになったこと、その後帰島して開業されたこと等のご自身の物語について、大変興味深いお話をいただきました。



各校のPTA役員、会員、教職員の皆様のご協力のお陰をもちまして、充実した研修会となり、感謝申し上げます。

県高P連総会・安全互助会総会開催予告 六月四日(金)にイタリヤ軒で

日時 令和三年六月四日(金) 十二時三十分〜十七時

会場 ホテル イタリヤ軒(新潟市)

例年どおりの日程と内容で実施します。ここでの提案発表校には、七月の北信越富山大会でも発表していただきます。その際、一校が壇上发表、三校は誌上发表となります。

- (1) 高校教育とPTA 糸魚川白嶺高校
- (2) 進路指導とPTA 羽茂高校
- (3) 生徒指導とPTA 新潟工業高校
- (4) 家庭教育とPTA 新潟県中央工業高校

北信越地区高P連研究大会開催予告 令和三年七月九日(金)・十日(土)に

期日 令和三年七月九日(金)・十日(土)

会場 富山県民会館

(富山市新総曲輪四一十八)

大会テーマ 全国大会に準ずる

新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないことから、大会規模を縮小し、参加者数も会場の収容人員の約半数に制限しての開催となります。各単Pからの申込みは、五月初旬の予定です。

全国高P連大会開催予告 令和三年八月二十四日(火)・二十五日(水)に

期日 令和三年八月二十四日(火)・二十五日(水) 会場 くびきメッセ

〜島根県立産業交流会館〜 他

(島根県松江市学園南一〜二) 分科会会場は、松江、安来、雲南、出雲

大会テーマ「ご縁(えん)づくり」サブテーマ

〜新たな明日への礎のために〜

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、令和二年に開催できなかった島根大会が、一年延期の後、開催されます。旧暦の十月には全国から神々が集うと言われている出雲の地に、未曾有の事態を経験した全国の会員が集い、子どもたちを取り巻く今後の日本社会について語り合い親交を深めることにより、新たな「ご縁」を生み、更には、子どもたちが日本のみならず世界へと豊かな「ご縁」を紡いでいけるようにという願いが込められています。各単Pからの参加申込みは、六月初旬の予定です。

【調査広報委員会委員】

- ◎新潟工業高校P会長 松野 始
- ◎新潟高校P会長 本間 拓男
- ◎新潟南高校P会長 吉田 拓也
- ◎新潟西高校P会長 三岡 幸子
- ◎新潟高校長 市川 亮
- ◎新潟北高校長 市川 亮
- ◎新潟商業高校長 市川 亮
- ◎新潟中等教育学校長 仲野 孝
- ◎新潟向陽高校長 上野 昌弘
- ◎委員長 宮崎 和子
- ◎事務局 (事務局所在地) 新潟向陽高等学校 新潟市江南区亀田向陽四一三一 TEL025(三八二)三三二一 FAX025(三八二)一八三二

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により様々な活動に制限がありますが、私たち県高P連は、学校や地域と協働して諸問題の解決に取り組んでいくことや、家庭でできることを考えていかなければなりません。このような困難な時だからこそ、皆で力を合わせて未来ある子どもたちのために繋がる支援を一緒に考え実践していきましょう。(調査広報委員長)